

## インフォシス、Infosys Colbalt サービスの Applied AI クラウドを開発、 社内に AI を普及し、AI を使った企業変革を推進

NVIDIA DGX A100 システムを採用、Applied AI クラウドで AI インフラストラクチャへの簡単・迅速な  
アクセスをインフォシス従業員に提供

**バンガロール (インド) – 2021 年 1 月 19 日:** 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、Infosys Cobalt の提供サービスとして Applied AI クラウドを公開することを発表しました。Applied AI クラウドは、あらゆる AI ワークロードに広く対応する [NVIDIA DGX™ A100 システム](#) に構築され、これまでにない計算処理密度、パフォーマンス、柔軟性を提供します。この強力な新サービスである Infosys applied AI クラウドが同社の AI センター・オブ・エクセレンスとなることで、インフォシスの開発者とプロジェクトチームは、プライベートクラウドとパブリッククラウドのいずれにおいても AI ハードウェアおよびソフトウェアスタックへのアクセスを迅速・簡単に行えるようになり、これを活用してコンテキスト化されたサービスを構築し、AI ファーストのビジネスプロセスを実現します。NVIDIA DGX A100 システムは、機械学習とディープラーニングの同時運用を 100 以上のプロジェクトチームが実行するさいに必要となる、インフラストラクチャと高度な計算能力を提供します。[NVIDIA マルチインスタンス GPU \(MIG\) テクノロジー](#) により、インフォシスはインフラストラクチャ効率を向上させ、各 DGX A100 システムの使用効率の最大化を図ることが可能になります。Infosys edge AI では、どのようなデバイスでも AI アルゴリズムの処理を中央集散的または局所的に、遅延なく実行できます。

また、[NVIDIA パートナーネットワーク](#) のサービスデリバリー・パートナーとして、インフォシスは NVIDIA DGX A100 搭載の企業向けオンプレミス AI クラウドを構築し、コグニティブサービス、ライセンス済みおよびオープンソースの AI ソフトウェア・アズ・ア・サービス (SaaS)、事前構築済み AI プラットフォーム、ソリューション、モデル、およびエッジ機能へのアクセスを提供します。これにより、企業は社内のデータ資産、オープンソース・データ、クラウド上のキューレーション済みデータを、自社の AI モデルの構築とトレーニングに利用できるようになります。企業はこうした利点を、ハイパースケール・クラウドプロバイダーが提供するサービスと共に活用し、自社の AI 主導型変革のスケールアップと将来の可用性確保を図ることができます。

「これまで長い間、AI は消費者体験を形づくる上で重要な役割を担ってきました。現在、クラウド、データアナリティクス、AI は収斂しつつあり、単なる消費者体験の促進の域を超えて、プロセスや機能を改めて想像しなおす機会を企業にもたらしめています」と、**インフォシスのシニア・バイスプレジデント兼 AI・オートメーションサービス責任者の Balakrishna D.R.** は述べています。「NVIDIA DGX A100 システムを採用した Infosys applied AI クラウドは、企業がこうした機会を捉え、新しい技術的な前進を取り込み拡張しつつ、迅速な構築を実現できるよう支援します。」

「多くの組織が、自らのビジネスに AI を浸透させたいと熱心に取り組んでいますが、専門知識をプールでき、ミッションクリティカルな AI アプリケーションの開発に必要とされる演算リソースをスケーリングできるような、戦略的なプラットフォームを入手できていないのです。」**NVIDIA の副社長兼 DGX システム担当ゼネラルマネージャーの Charlie Boyle 氏**はこのように述べています。「当社はインフォシスと共に、NVIDIA DGX A100 および NVIDIA DGX POD インフラストラクチャを活用する組織が、あらゆる場所に自らの AI センター・オブ・エクセレンスを構築でき、AI 投資の ROI 向上を加速できるよう支援してまいります。」

## インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com/jp](http://www.infosys.com/jp) をご覧ください。

## セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度（2013 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）と 2013 年第 1 四半期（2013 年 4 月 - 7 月期）（Form 6-K）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov)、でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

## お問い合わせ先

日本支店 マーケティング本部 安藤 [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)